

## Pixiv 複数枚投稿機能の統計と、それがコミュニティ統計に及ぼす影響

### あおこめ

イラスト投稿サイトである pixiv [1] は、その規模故に、投稿者数や投稿イラスト数といった統計情報がコミュニティ考察の有効な統計データとして利用されることが多い。一方、pixiv の特徴として、イラストを通しての利用者間の交流や企画、独自の利用法が自然発生するというものがある。本稿は、そのような自然発生した pixiv 独自の利用法の一例である漫画機能、およびそこから発展した複数枚投稿機能の利用方法について集計を行い、イラスト創作活動や pixiv の統計情報を扱う際の注意点を考察したものである。

### 1. はじめに

2007 年に開設された pixiv は、ユーザー 1,000 万以上 [2]、イラスト総数 2450 万枚以上 [3] という、イラスト投稿を主体とするサイトとしては日本最大の規模を持つ SNS である。これはニコニコ静画のイラスト総数 171 万枚 [4]、TINAMI の 70 万枚 [5] と比べても非常に大きい。

そのため、pixiv の投稿数や投稿者数の統計情報は、インターネット上での二次創作活動としての傾向や変化を示す指標として、これまでデータ集計やコミュニティ考察をテーマにした web 上の記事や同人誌に利用されている [6,7]。

一方、pixiv の特徴として、イラスト投稿を介してユーザー主体に企画や利用法が自主開発され、それを後追いする形で機能実装が行われる、というものがある。漫画創作系利用者が 1 ページずつ漫画を投稿するといった利用法から漫画機能が実装されたことや、イメージレスポンス機能を使った企画が活発に行われたことから企画目録機能が独立したことが例として挙げられる。

これらの特徴は、二次創作活動の傾向と変化を観測する目的で pixiv の統計情報を使用する場合、注意を要するだろう。比較対象の時分（例えば 2008 年 8 月）と現在では主体となっている利用法が異なり、そのままの数字では比較が困難である、という可能性があるからである。

本稿は、pixiv 複数枚投稿機能を利用したイラストを集計し、上記のようなユーザーが見つけた pixiv の利用法がどれだけ存在し、統計情報にどれだけ影響するのかを考察したものである。

### 2. pixiv 複数枚投稿機能について

pixiv は現在、1 枚 8MB 以内、合計 200 枚、合計サイズ 30MB 以内ならばイラストも漫画も複数枚投稿が可能である。この機能は 2014 年 9 月に実装されたものであり [8]、それより以前はイラストを複数枚同時に投稿する場合は 2009 年 9 月に実装された [9] 漫画機能を利用していた。

以上の経緯から現在、pixiv の複数枚投稿機能は漫画、紙芝居形式の作品、イラストの詰め合わせ、立ち絵集など差分イラストの集合体、企画の概要、イベントのサンプルといった、様々な用途で利用されている。

### 3. データの取得

pixiv の非公開 API を用いて、東方 project（以下東方）の最新 2000 件のイラストデータを取得した。また、比較対象として「アイドルマスター（以下アイマス）」「魔法少女まどか☆マギカ（以下まどまぎ）」「艦隊これくしょん（以下艦これ）」についても同様にデータを取得した。データ取得日は、東方 project は 2014 年 2 月 28 日、それ以外は 2014 年 3 月 2 日である。具体的な検索条件を表 1 に記す。